

# H29年度保育の計画性自己評価

認定こども園北見くるみ幼稚園

評価分類	内 容	評価	
1	指導計画の作成	○園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	B
		○指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している	B
		○長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行ない、幼児の実態や周囲の状況の変化にの变化に対応できるように作成している	B
		○短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている	B
2	環境の構成	○安全で清潔感のある環境構成をしている	A
		○幼児が自ら活動を生み出していけるような素材や活動を展開する場や空間を構成している	B
		○楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	A
		○幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている	B
		○季節の変化に応じた環境構成をしている	A
		○異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	B
3	健康と安全への配慮	○朝の登園時は指針を大切にし用事の体調が悪くないかを確かめている	A
		○怪我や事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけを行っている	B
		○園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかななどを常に観察している	B
4	指導と関わり	○一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながら関わっている	B
		○「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている	B
		○幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	B
		○幼児の家庭環境や、これまでの生育歴などを考慮して関わっている	B
		○幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス学年を超えて情報を共有している	B
		○指導上配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い共通理解を持って対応するようにしている	B
5	教師としての資質	○保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	B
		○教職員や園の批判を軽はずみにしていない	B
		○自分の意見と異なる結果となっても議論の上決定したことは、協力し実行している	B
		○会議の時は自分の意見や質問を前もって考えている	B
6	保護者への対応	○個々のこどもの様子は直接話したり、電話、連絡帳を使って伝え合っている	B
		○自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く	B
		○長期の欠席や入院の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	B
		○園のすべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている	A
		○保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応している	A
		○保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡報告、相談している	B
		○クレームの内容によっては教職員全体で検討し共通理解の上で対処している	B
7	課題に関する研修	○障がいのある幼児に対応する保育のあり方について学習している	B
		○預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している	B
		○アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解している	B

評価 A: 良く行っている B: 行っている C: あまり行っていない

実施日	3月31日
-----	-------